

# 本管掘削土量 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

掘削機械	掘削土木 [m3]	掘削下水 [m3]	掘削土量計 [m3]		基面整正 [m2]
0.28m3(0.20)		291.743	291.743		
合計		291.743	291.743		

# 本管理戻土量 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

掘削機械 0.28m3(0.20)

埋戻種別	埋戻土量[m3]				
	埋戻A1	埋戻A2	埋戻B1	埋戻B2	流用A区分
流用土		21.357		205.674	
合計		21.357		205.674	

土量合計	227.031
------	---------

本管発生土処理 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

運搬機械	人力[m3]		BH0.13(0.10)[m3]		BH0.28m3(0.20)[m3]		BH0.45m3(0.35)[m3]		BH0.80m3(0.60)[m3]		合計	
	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道
DT4t						39.737						39.737
合計						39.737						39.737

合計	39.737
----	--------

本管布設 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

管種 リブ管

管径 [mm]	管 材料費					管布設工 [m]	マンホール 削孔[箇所]	区間延長 [m]
	片受直管 [本]	調整管[本]		副管継手(外)[本]	副管継手(内)[本]			
200	23	2				98.000		101.70

本管 基礎工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助  
基礎高[m] 0.406

種別	基礎工 [m3]					管防護工 [m3]					合計
	人力	BH0.13m3(0.10)	BH0.28m3(0.20)	BH0.45m3(0.35)	BH0.80m3(0.60)	人力	BH0.13m3(0.10)	BH0.28m3(0.20)	BH0.45m3(0.35)	BH0.80m3(0.60)	
RC-30			10.678					29.286			39.964
合計			10.678					29.286			39.964

管渠延長合計	98.100
--------	--------

土留工集計表（本管）

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分補助

管種 リブ管

矢板 アルミ矢板

掘削機種	掘削深 [m]	土留めなし												合計	掘削機種 毎合計
	掘削幅 [m]	～1.5	1.51～1.55	1.56～2	2.01～2.05	2.06～2.5	2.51～2.6	2.61～3	3.01～3.3	3.31～3.5	3.51～3.8	3.81～5			
0.28m3 (0.20)	～0.97													101.700	101.700
	～1.22						2.600	93.100	6.000						
	～1.62														
掘削幅 毎合計	～0.97													101.700	101.700
	～1.22						2.600	93.100	6.000						
	～1.62														
掘削深毎 合計							2.600	93.100	6.000					101.700	

総合計	101.700
-----	---------

マンホール設置工 集計表(1)

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-14(φ600) 1箇所

マンホール形式	設置箇所数 [箇所]	インポート [個]	底版 [個]	躯体ブロック [個]								斜壁 [個]				直壁 [個]								調整リング[個]			調整金具[個]				蓋受枠 [箇所]	平均マンホール深[m]
				1.8	1.5	1.2	0.9	0.6				0.6	0.45	0.3		1.8	1.5	1.2	0.9	0.6	0.3				5cm	10cm	15cm	15mm	25mm	45mm		
1号	6	6	1	1								1												1	1				1		1	2.526
合計	6	6	1	1								1												1	1				1		1	2.526

マンホール設置工 集計表(2)

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-14(φ600)

マンホール形式	管削孔[箇所]												ゴム製ジョイント[箇所]											
	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300	予備	予備	予備	予備	予備	予備	HP250	HP300	PRP150	PRP200	PRP250	PRP300	VU100	VU125	VU150	VU200	VU250	VU300
1号				6												7								
合計				6												7								

処理種別 当初



# マンホール ブロック据付工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-14(φ600)

マンホール形式 1号

	マンホール据付工 [箇所]										合計
	～3.00[m]	～4.00[m]	～5.00[m]	～6.00[m]	～999.00[m]	～0.00[m]	～0.00[m]				
	1										1
合計	1										1

# 底部工 集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-14(φ 600)

マンホール 形式	管径 [mm]	底部工 [箇所]			(インバート有)					
		栗石	砕石(RC-40)	底部工なし						
1号	200	1		4						
1号	250			1						
合計		1		5						

# マンホール副管設置 集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

副管 なし

本管 管種	本管 管径[mm]	副管 管径[mm]	段 差 [箇所]									
			0.6～	1.26～	1.76～	2.26～	2.76～	3.26～	3.76～	4.26～		
リブ管	200											
合計												

# 舗装版切断 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

舗装厚 [m]	舗装版切断[m]									
	アスファルト	コンクリート(無筋)	コンクリート(有筋)							
～0.15	203.400									
合計	203.400									

舗装版破碎 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

舗装種別 アスファルト

破碎機械 0.28m3(0.20)

区分	舗装厚[m]						
	～0.10	～0.15	～999.00				
本管部	106.785						
合計	106.785						

殻運搬処理
 内訳集計表

工事名
 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分
 補助

舗装種別
 アスファルト

運搬機械	人力 [m3]		BH0.13(0.10)[m3]		BH0.28(0.20)[m3]		BH0.45(0.35)[m3]		BH0.80(0.60)[m3]		合計
	本管部	取付管部	本管部	取付管部	本管部	取付管部	本管部	取付管部	本管部	取付管部	
DT4t					5.338						5.338
合計					5.338						5.338
	人力合計		0.13合計		0.28合計	5.338	0.45合計		0.80合計		

総合計	5.338
-----	-------

路盤工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

施工区分 車道

仕上がり 厚 [m]	路盤工1[m2]										路盤工2[m2]									
	流用土	RC-30	RC-40	C-30	C-40	M-30	M-40	埋戻土 別途計上	山土(盛土 用)		流用土	RC-30	RC-40	C-30	C-40	M-30	M-40	埋戻土 別途計上	山土(盛土 用)	
0.10												106.785								
0.12						106.785														
合計						106.785						106.785								

# 路面復旧工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

施工区分 車道

舗装厚 [m]	路面復旧[m2]							
	再生密粒度AS13	再生密粒度AS20	密粒度AS13	密粒度AS20				
0.03	106.785							
合計	106.785							



# 土量計算書

工事番号 9

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

路線名 4-a-1

スパン番号 01-00

管種 リブ管

管径[mm] 200

矢板 アルミ矢板

破碎機械 0.28m3(0.20)[200]

掘削機械 0.28m3(0.20)[200]

運搬機種 DT4t

現況舗装厚 [m]

0.05 復旧舗装厚[m]

0.03 管防護厚[m]

0.10 管基礎厚[m]

0.10 流用可能層厚[m]

0.000 ☐ 下流マンホール削孔接続

☐ 上流マンホール削孔接続

日進量[m/日]

本管勾配[‰]

2.983

管渠継手無し[m]

17.200

調整管[本]

0.300

矢板設置率[%]

100.000

流用余り[m3]

0.000

ステップ

0.176

人孔番号	区間延長 [m]	管渠減長 [m]	管渠延長 [m]	地盤高 [m]	管底高 [m]	施工基 面高[m]	掘削深 [m]	平均掘 削深[m]	掘削幅[m]	平均断面 積[m2]	土量[m3]	流用可能 土量[m3]	片受直管 [本]	調整長さ [m]	流出管 底高[m]	副管継手
下流側 既設No.1	18.10	0.90	17.200	85.54	82.774	82.671	2.869								82.598	なし
上流側 既設No.1				85.45	82.828	82.725	2.725	2.797	1.05	2.936	53.141	0.000	4	1.200		
舗装切断	36.200 [m]	18.10 ×	2													
舗装取壊	19.005 [m2]	18.10 ×	1.05													
舗装取壊	0.950 [m3]	18.10 ×	1.05 ×	0.05												
掘削[土木]	0.000 [m3]															
基面整正	0.000 [m2]															
掘削[下水]	52.191 [m3]	53.141 -	0.950													
発生土処理	7.047 [m3]	53.141 -	0.950 -	0.000 -	45.144 +	0.000										
埋戻管基礎 RC-30	1.900 [m3]	18.10 ×	1.05 ×	0.10 +	0.000											
埋戻管防護 RC-30	5.212 [m3]	18.10 ×	1.05 × (	0.206 +	0.10 ) -											
		18.10 ×	0.206 ^2 × 0.785													
路面復旧	車道	再生密粒度AS1	19.005 [m2]	18.10 ×	1.05	復旧舗装厚	0.03 [m]									
埋戻A1区分	流用土	0.000 [m3]	18.10 ×	1.05 ×	0.00											
埋戻A2区分	流用土	3.801 [m3]	18.10 ×	1.05 ×	0.20 -	0.000 +	0.000									
埋戻B1区分	流用土	0.000 [m3]	18.10 ×	1.05 ×	0.00											
埋戻B2区分	流用土	36.869 [m3]	18.10 ×	1.05 ×	1.94 -	0.000										
路盤工1区分	車道 M-30	19.005 [m2]	18.10 ×	1.05	路盤厚1	0.12 [m]										
路盤工2区分	車道 RC-30	19.005 [m2]	18.10 ×	1.05	路盤厚2	0.10 [m]										
流用A区分	流用土	0.000 [m3]														
流用B区分	流用土	0.000 [m3]														

路線名 16-15a-2

スパン番号 01-00

管種 リブ管

管径[mm] 200

矢板 アルミ矢板

破碎機械 0.28m3(0.20)[200]

掘削機械 0.28m3(0.20)[200]

運搬機種 DT4t

現況舗装厚 [m]

0.05 復旧舗装厚[m]

0.03 管防護厚[m]

0.10 管基礎厚[m]

0.10 流用可能層厚[m]

0.000 ☐ 下流マンホール削孔接続

☐ 上流マンホール削孔接続

日進量[m/日]

本管勾配[‰]

3.000

管渠継手無し[m]

5.100

調整管[本]

0.275

矢板設置率[%]

100.000

流用余り[m3]

0.000

ステップ

0.050

人孔番号	区間延長 [m]	管渠減長 [m]	管渠延長 [m]	地盤高 [m]	管底高 [m]	施工基 面高[m]	掘削深 [m]	平均掘 削深[m]	掘削幅[m]	平均断面 積[m2]	土量[m3]	流用可能 土量[m3]	片受直管 [本]	調整長さ [m]	流出管 底高[m]	副管継手
下流側 No.15	6.00	0.90	5.100	85.75	82.581	82.478	3.272								82.531	なし
上流側 既設No.2				85.78	82.599	82.496	3.284	3.278	1.05	3.441	20.646	0.000	1	1.100		
舗装切断	12.000 [m]	6.00 ×	2													
舗装取壊	6.300 [m2]	6.00 ×	1.05													
舗装取壊	0.315 [m3]	6.00 ×	1.05 ×	0.05												
掘削[土木]	0.000 [m3]															
基面整正	0.000 [m2]															
掘削[下水]	20.331 [m3]	20.646 -	0.315													
発生土処理	2.009 [m3]	20.646 -	0.315 -	0.000 -	18.322 +	0.000										
埋戻管基礎 RC-30	0.630 [m3]	6.00 ×	1.05 ×	0.10 +	0.000											
埋戻管防護 RC-30	1.727 [m3]	6.00 ×	1.05 × (	0.206 +	0.10 ) -											
		6.00 ×	0.206 ^2 × 0.785													
路面復旧	車道	再生密粒度AS1	6.300 [m2]	6.00 ×	1.05	復旧舗装厚	0.03 [m]									
埋戻A1区分	流用土	0.000 [m3]	6.00 ×	1.05 ×	0.00											
埋戻A2区分	流用土	1.260 [m3]	6.00 ×	1.05 ×	0.20 -	0.000 +	0.000									
埋戻B1区分	流用土	0.000 [m3]	6.00 ×	1.05 ×	0.00											
埋戻B2区分	流用土	15.246 [m3]	6.00 ×	1.05 ×	2.42 -	0.000										
路盤工1区分	車道 M-30	6.300 [m2]	6.00 ×	1.05	路盤厚1	0.12 [m]										
路盤工2区分	車道 RC-30	6.300 [m2]	6.00 ×	1.05	路盤厚2	0.10 [m]										
流用A区分	流用土	0.000 [m3]														
流用B区分	流用土	0.000 [m3]														

# 土量計算書

工事番号 9

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

路線名 3-d-1		スパン番号 01-00		管種	リブ管	管径[mm] 200		矢板 アルミ矢板		破碎機械	0.28m3(0.20)[200]	掘削機械	0.28m3(0.20)[200]	運搬機種 DT4t		
現況舗装厚 [m]		0.05	復旧舗装厚[m]		0.03	管防護厚[m]		0.10	管基礎厚[m]		0.10	流用可能層厚[m]		0.000	<input type="checkbox"/> 下流マンホール削孔接続	<input type="checkbox"/> 上流マンホール削孔接続
日進量[m/日]		本管勾配[%]		3.000	管渠継手無し[m]		74.100	調整管[本]		0.525	矢板設置率[%]		100.000	流用余り[m3]	0.000	ステップ 0.343
人孔番号	区間延長 [m]	管渠減長 [m]	管渠延長 [m]	地盤高 [m]	管底高 [m]	施工基面高[m]	掘削深 [m]	平均掘削深[m]	掘削幅[m]	平均断面積[m2]	土量[m3]	流用可能土量[m3]	片受直管 [本]	調整長さ [m]	流出管底高[m]	副管継手
下流側 既設No.1	75.00	0.90	74.100	85.68	82.919	82.816	2.864								82.576	なし
上流側 No.20				85.67	83.144	83.041	2.629	2.746	1.05	2.883	216.225	0.000	18	2.100		
舗装切断		150.000 [m]	75.00 ×	2				路面復旧 車道		再生密粒度AS1	78.750 [m2]	75.00 ×	1.05	復旧舗装厚 0.03[m]		
舗装取壊		78.750 [m2]	75.00 ×	1.05				埋戻A1区分		流用土	0.000 [m3]	75.00 ×	1.05 ×	0.00		
舗装取壊		3.937 [m3]	75.00 ×	1.05 ×	0.05				埋戻A2区分		流用土	15.750 [m3]	75.00 ×	1.05 ×	0.20 -	0.000 + 0.000
掘削[土木]		0.000 [m3]							埋戻B1区分		流用土	0.000 [m3]	75.00 ×	1.05 ×	0.00	
基面整正		0.000 [m2]							埋戻B2区分		流用土	148.837 [m3]	75.00 ×	1.05 ×	1.89 -	0.000
掘削[下水]		212.288 [m3]	216.225 -	3.937				路盤工1区分 車道		M-30	78.750 [m2]	75.00 ×	1.05	路盤厚1 0.12[m]		
発生土処理		29.596 [m3]	216.225 -	3.937 -	0.000 -	182.692 +	0.000	路盤工2区分 車道		RC-30	78.750 [m2]	75.00 ×	1.05	路盤厚2 0.10[m]		
埋戻管基礎 RC-30		7.875 [m3]	75.00 ×	1.05 ×	0.10 +	0.000				流用A区分		流用土	0.000 [m3]			
埋戻管防護 RC-30		21.599 [m3]	75.00 ×	1.05 × (	0.206 +	0.10 ) -				流用B区分		流用土	0.000 [m3]			
			75.00 ×	0.206 ^2×0.785												

路線名 3-d-1		スパン番号 02-00			管種 リブ管	管径[mm] 200		矢板 アルミ矢板		破碎機械 0.28m3(0.20)[200]		掘削機械 0.28m3(0.20)[200]		運搬機種 DT4t		
現況舗装厚 [m]		0.05	復旧舗装厚[m]		0.03	管防護厚[m]		0.10	管基礎厚[m]		0.10	流用可能層厚[m]		0.000	<input type="checkbox"/> 下流マンホール削孔接続 <input type="checkbox"/> 上流マンホール削孔接続	
日進量[m/日]		本管勾配[%]			3.076	管渠継手無し[m]		1.700	調整管[本]		0.425	矢板設置率[%]		100.000	流用余り[m3] 0.000 ステップ 0.020	
人孔番号		区間延長 [m]	管渠減長 [m]	管渠延長 [m]	地盤高 [m]	管底高 [m]	施工基面高[m]	掘削深 [m]	平均掘削深[m]	掘削幅[m]	平均断面積[m2]	土量[m3]	流用可能土量[m3]	片受直管 [本]	調整長さ [m]	流出管底高[m] 副管継手
下流側 No.20		2.60	0.90	1.700	85.67	83.164	83.061	2.609								83.144 なし
上流側 既設No.3					85.64	83.172	83.069	2.571	2.590	1.05	2.719	7.069	0.000	0	1.700	
舗装切断		5.200 [m]	2.60 ×	2				路面復旧		車道	再生密粒度AS1	2.730 [m2]	2.60 ×	1.05	復旧舗装厚	0.03[m]
舗装取壊		2.730 [m2]	2.60 ×	1.05				埋戻A1区分		流用土		0.000 [m3]	2.60 ×	1.05 ×	0.00	
舗装取壊		0.136 [m3]	2.60 ×	1.05 ×	0.05				埋戻A2区分		流用土		0.546 [m3]	2.60 ×	1.05 ×	0.20 − 0.000 + 0.000
掘削[土木]		0.000 [m3]							埋戻B1区分		流用土		0.000 [m3]	2.60 ×	1.05 ×	0.00
基面整正		0.000 [m2]							埋戻B2区分		流用土		4.722 [m3]	2.60 ×	1.05 ×	1.73 − 0.000
掘削[下水]		6.933 [m3]	7.069 −	0.136				路盤工1区分		車道	M-30	2.730 [m2]	2.60 ×	1.05	路盤厚1	0.12[m]
発生土処理		1.085 [m3]	7.069 −	0.136 −	0.000 −	5.847 +	0.000	路盤工2区分		車道	RC-30	2.730 [m2]	2.60 ×	1.05	路盤厚2	0.10[m]
埋戻管基礎 RC-30		0.273 [m3]	2.60 ×	1.05 ×	0.10 +	0.000	流用A区分			流用土		0.000 [m3]				
埋戻管防護 RC-30		0.748 [m3]	2.60 ×	1.05 × (	0.206 +	0.10 ) −	流用B区分			流用土		0.000 [m3]				
			2.60 ×	0.206	^2 × 0.785											

# マンホール設置工(1) 計算書

工事番号 9

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

マンホール形式 1号

人孔番号	人孔深 [m]	インバート [個]	底板 [個]	躯体ブロック [個]								斜壁 [個]				直壁 [個]								調整リング[個]			調整金具[個]				蓋受枠
				1.8	1.5	1.2	0.9	0.6				0.6	0.45	0.3		1.8	1.5	1.2	0.9	0.6	0.3			5cm	10cm	15cm	15mm	25mm	45mm		
No.20	2.526	1	1	1								1												1	1				1		T-14(φ 600)
既設No.1	2.622	1																													
既設No.13	2.942	1																													
既設No.19	3.104	1																													
既設No.2	3.181	1																													
既設No.3	2.468	1																													
合計		6	1	1								1												1	1				1		

マンホール設置工(2) 計算書

工事番号 9

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助

マンホール形式 1号

人孔番号	人孔深 [m]	管削孔[箇所]											ゴム製ジョイント[箇所]											管口止水[箇所]		
		φ 100	φ 125	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	予備	予備	予備	予備	予備	HP250	HP300	PRP150	PRP200	PRP250	PRP300	VU100	VU125	VU150	VU200	VU250	VU300	φ 100	φ 200
No.20	2.526				1											2										
既設No. 1	2.622				1											1										
既設No. 13	2.942				1											1										
既設No. 19	3.104				1											1										
既設No. 2	3.181				1											1										
既No.3	2.468				1											1										
合計					6											7										

処理種別 当初

# マンホール副管設置 計算書

工事番号 9

工事名 木之本西幹線投入点(16)接続工事(下八木第4工区)

費用区分 補助  
副管 なし

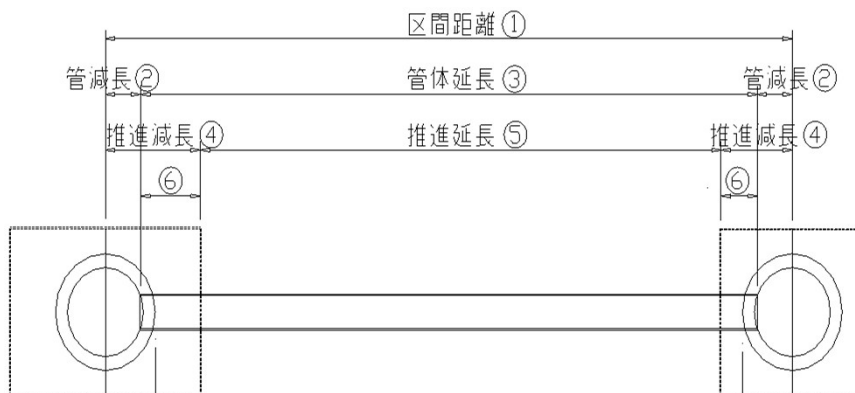
人孔番号	マンホール形式	人孔深 [m]	本管 管種	本管 管径[mm]	副管 管径[mm]	副管				段 差 [箇所]						
						高さ[m]	直管[本]	型枠[m]	生コン[m]	0.6～	1.26～	1.76～	2.26～	2.76～	3.26～	3.76～
No.20	1号	2.526	リブ管	200												
既設No.13	1号	2.942	リブ管	200												
既設No.19	1号	3.104	リブ管	200												
合計																

推進工 総括

[illegible]

# 推進工法材料計算書(1)

路線名	管径	マンホール番号		マンホール種別		区間延長 ①	管 減 長 ②		管体延長 ③=①-②	推進減長 ④		推進延長 ⑤=①-④	空伏(管布設工) ⑥=④-②							管 本 数 ⑨						管接合ヶ所 ⑩=⑨-1	摘 要	
													50N SJS		70N SJS					短管								
													1種	2種	1種					2種	B							
		下流	上流	下流	上流		下流	上流		下流	上流		下流	上流							L=1.00m	L=1.00m	L=1.00m	L=1.00m				
単 位	m m					m	m	m	m	m	m	m							本						箇所			
小数点	—	No.		—		3位	3位	3位	3位	3位	3位	3位							単 位 限						単位限			
												=「排土管・油圧ホース等撤去工」延長 =「添加材注入工」延長																
16-1c	○ 250	M8	1	特	1号	14.10	1.20	0.45	12.45	1.50	1.00	11.60	0.30	0.55					12					1		12		
16-1c	○ 250	1	2	1号	1号	110.00	0.45	0.45	109.10	1.00	0.75	108.25	0.55	0.30					109					1		109		
16-1c	○ 250	2	3	1号	2号	100.00	0.45	0.60	98.95	0.75	1.00	98.25	0.30	0.40					98					1		98		
3-b-2	○ 250	3	4	2号	1号	130.00	0.60	0.45	128.95	1.00	0.75	128.25	0.40	0.30					128					1		128		
3-b-2	○ 250	4	5	1号	1号	130.00	0.45	0.45	129.10	0.75	1.00	128.25	0.30	0.55					129					1		129		
16-15a-1	○ 250	3	14	2号	1号	85.00	0.60	0.45	83.95	1.00	1.00	83.00	0.40	0.55					83					1		83		
16-15a-1	○ 250	14	15	1号	1号	65.00	0.45	0.45	64.10	1.00	0.75	63.25	0.55	0.30					64					1		64		
計						634.10	4.20	3.30	626.60	7.00	6.25	620.85	2.80	2.95					623	0	0	0	0	7	0	623		



圧送排土式推進工法 仮設備工 (1)

[illegible]



# 土量計算書(集計)

No. \_\_\_\_\_

推進区間	土量(m3)			掘削添加材量 (1m当り)				適用
	掘削 土量	添加材 注入量	発生土 処分量	ペントナイト t	粘土 t	滑材 l	清水 l	
M8到達～No.1発進	1.46	1.90	3.02	0.015	0.009	33.9	120.3	
No.1発進～No.2到達	13.64	17.73	28.23	0.015	0.009	33.9	120.3	
No.2到達～No.3発進	12.38	16.09	25.62	0.012	0.008	34.3	121.7	
No.3発進～No.4到達	16.16	21.01	33.45	0.012	0.008	34.3	121.7	
No.4到達～No.5発進	16.16	21.01	33.45	0.012	0.008	34.3	121.7	
No.3到達～No.14発進	10.87	14.13	22.50	0.016	0.010	35.2	124.7	
No.14発進～No.15到達	8.29	10.78	17.16	0.016	0.010	35.2	124.7	
計	78.96	102.65	163.43					

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 1 発進 ~ M 8 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.126 \text{ m}^3/\text{m}$ (スポーク型)		
	推進延長		
	$L = 11.60 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.126 \times 11.60$	$\text{m}^3$	1.46
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 普通土(A) 砂質土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 1.46 \times 130.00 / 100 = 1.9$	$\text{m}^3$	1.90
	$= 0.126 \times 130.00 / 100 = 0.164$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.164
3. 発生土処分量			
	$= (1.46 + 1.90) \times 0.90$	$\text{m}^3$	3.02
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.164 \times 9.32 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.015
粘土	$0.164 \times 5.59 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.009
滑材	$0.164 \times 20.69 \times 10$	ℓ/m	33.9
清水	$0.164 \times 73.35 \times 10$	ℓ/m	120.3
	(↑100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 1 発進 ~ No. 2 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.126 \text{ m}^3/\text{m}$ (スポーク型)		
	推進延長		
	$L = 108.25 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.126 \times 108.25$	$\text{m}^3$	13.64
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 普通土(A) 砂質土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 13.64 \times 130.00 / 100 = 17.73$	$\text{m}^3$	17.73
	$= 0.126 \times 130.00 / 100 = 0.164$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.164
3. 発生土処分量			
	$= (13.64 + 17.73) \times 0.90$	$\text{m}^3$	28.23
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.164 \times 9.32 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.015
粘土	$0.164 \times 5.59 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.009
滑材	$0.164 \times 20.69 \times 10$	ℓ/m	33.9
清水	$0.164 \times 73.35 \times 10$	ℓ/m	120.3
	(↑100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 3 発進 ~ No. 2 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.126 \text{ m}^3/\text{m}$ (スポーク型)		
	推進延長		
	$L = 98.25 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.126 \times 98.25$	$\text{m}^3$	12.38
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 普通土(A) 粘性土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 12.38 \times 130.00 / 100 = 16.09$	$\text{m}^3$	16.09
	$= 0.126 \times 130.00 / 100 = 0.164$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.164
3. 発生土処分量			
	$= (12.38 + 16.09) \times 0.90$	$\text{m}^3$	25.62
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.164 \times 7.54 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.012
粘土	$0.164 \times 4.71 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.008
滑材	$0.164 \times 20.92 \times 10$	ℓ/m	34.3
清水	$0.164 \times 74.18 \times 10$	ℓ/m	121.7
	(↑ 100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 3 発進 ~ No. 4 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.126 \text{ m}^3/\text{m}$ (スポーク型)		
	推進延長		
	$L = 128.25 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.126 \times 128.25$	$\text{m}^3$	16.16
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 普通土(A) 粘性土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 16.16 \times 130.00 / 100 = 21.01$	$\text{m}^3$	21.01
	$= 0.126 \times 130.00 / 100 = 0.164$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.164
3. 発生土処分量			
	$= (16.16 + 21.01) \times 0.90$	$\text{m}^3$	33.45
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.164 \times 7.54 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.012
粘土	$0.164 \times 4.71 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.008
滑材	$0.164 \times 20.92 \times 10$	ℓ/m	34.3
清水	$0.164 \times 74.18 \times 10$	ℓ/m	121.7
	(↑ 100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 5 発進 ~ No. 4 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.126 \text{ m}^3/\text{m}$ (スポーク型)		
	推進延長		
	$L = 128.25 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.126 \times 128.25$	$\text{m}^3$	16.16
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 普通土(A) 粘性土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 16.16 \times 130.00 / 100 = 21.01$	$\text{m}^3$	21.01
	$= 0.126 \times 130.00 / 100 = 0.164$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.164
3. 発生土処分量			
	$= (16.16 + 21.01) \times 0.90$	$\text{m}^3$	33.45
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.164 \times 7.54 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.012
粘土	$0.164 \times 4.71 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.008
滑材	$0.164 \times 20.92 \times 10$	ℓ/m	34.3
清水	$0.164 \times 74.18 \times 10$	ℓ/m	121.7
	(↑ 100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 14 発進 ~ No. 3 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.131 \text{ m}^3/\text{m}$ (ローラ型)		
	推進延長		
	$L = 83.00 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.131 \times 83.00$	$\text{m}^3$	10.87
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 硬質土(B) 砂質土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 10.87 \times 130.00 / 100 = 14.13$	$\text{m}^3$	14.13
	$= 0.131 \times 130.00 / 100 = 0.17$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.170
3. 発生土処分量			
	$= (10.87 + 14.13) \times 0.90$	$\text{m}^3$	22.50
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.170 \times 9.32 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.016
粘土	$0.170 \times 5.59 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.010
滑材	$0.170 \times 20.69 \times 10$	ℓ/m	35.2
清水	$0.170 \times 73.35 \times 10$	ℓ/m	124.7
	(↑100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 14 発進 ~ No. 15 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.131 \text{ m}^3/\text{m}$ (ローラ型)		
	推進延長		
	$L = 63.25 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.131 \times 63.25$	$\text{m}^3$	8.29
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 130.00 \%$		
	土質: 硬質土(B) 砂質土		
	水位: 低水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 8.29 \times 130.00 / 100 = 10.78$	$\text{m}^3$	10.78
	$= 0.131 \times 130.00 / 100 = 0.17$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.170
3. 発生土処分量			
	$= (8.29 + 10.78) \times 0.90$	$\text{m}^3$	17.16
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.170 \times 9.32 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.016
粘土	$0.170 \times 5.59 \times 10 \div 1,000$	t/m	0.010
滑材	$0.170 \times 20.69 \times 10$	ℓ/m	35.2
清水	$0.170 \times 73.35 \times 10$	ℓ/m	124.7
	(↑ 100l当り数量)		



[illegible]

1号組立人孔数量表－ 2

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
1号組立人孔	材 料	直壁ブロック Ⅰ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個	3	
			φ 900 H=1500	個	11	
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
		直壁ブロック Ⅱ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個	2	
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
		斜壁ブロック	φ 900-600 H=300	個		
			φ 900-600 H=450	個	3	
			φ 900-600 H=600	個	3	
		調整リング	φ 600 H=50	個	8	
			φ 600 H100	個	1	
		調整モルタル		mm	172	
		※調整金物の場合	H=25 (～25mm)	個	1	
			H=45 (～50mm)	個	5	
		蓋及び受枠	(T-14)	個	2	
			(T-25)	個	4	
		グ ラウト マンホール用 転落防止梯子		個	6	

1号組立人孔数量表－ 3

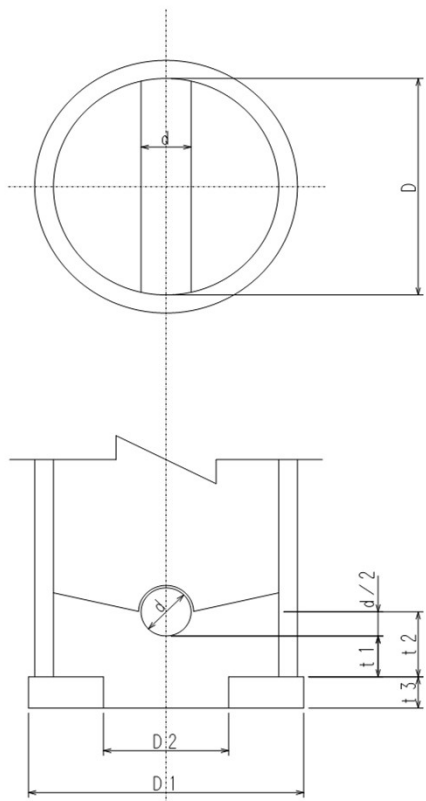
工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考	
1号組立人孔	流入管削孔	推進管	HP φ 250	箇所		I 種 1	
					5	Ⅱ種 4	
		開削管	PRP φ 200	箇所	1		
					箇所		
	可とう継手	推進管	HP φ 250	箇所	11		
		開削管	PRP φ 200	箇所	1		
中間スラブ	FRP製 2分割	切欠無		組	7		
		切欠有		組			
1号組立人孔	底部工	型 枠		m2	2. 118	全体	
					0. 353	箇所	
		コンク リート	18-8-40	m3	1. 032	全体	
					0. 172	箇所	
		モルタル	t=2cm 1 : 2	m2	4. 584	全体	
					0. 764	箇所	
調整コンクリート		コンク リート	18-8-40	m3	3. 070		
No. 1	0. 275*2. 058 <sup>2</sup> *π /4= 0. 915						
No. 2	0. 055*1. 566 <sup>2</sup> *π /4= 0. 106						
No. 4	0. 055*1. 566 <sup>2</sup> *π /4= 0. 106						
No. 5	0. 275*2. 058 <sup>2</sup> *π /4= 0. 915						
No. 14	0. 275*2. 066 <sup>2</sup> *π /4= 0. 922						
No. 15	0. 055*1. 566 <sup>2</sup> *π /4= 0. 106						



## 1号組立人孔底部工計算書（1ヶ所当たり）

## 算式の根拠となる構造図・他

流入管径：	d1 =	0.250 m	人孔落差：	h=	0.020 m
流出管径：	d2 =	0.250 m	人孔壁厚：	t1=	0.170 m
平均管径：	d =	0.250 m	平均人孔壁厚：	t2=	0.305 m
人孔内径：	D =	0.900 m		t3=	m
基础外径：	D1=	1.100 m			
底板开口：	D2=	m	※平均人孔壁厚=t1+（管径+落差）/2		

[illegible]

[illegible]

2号組立人孔数量表－ 2

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
2号組立人孔	材 料	直壁ブロック Ⅰ 種	φ 1200 H=600	個		
			φ 1200 H=900	個		
			φ 1200 H=1200	個	1	
			φ 1200 H=1500	個	2	
			φ 1200 H=1800	個		
		直壁ブロック Ⅱ 種	φ 1200 H=2100	個		
			φ 1200 H=600	個		
			φ 1200 H=900	個		
			φ 1200 H=1200	個		
			φ 1200 H=1500	個	1	
		斜壁ブロック	φ 1200 H=1800	個		
			φ 1200 H=2100	個		
			φ 1200-600 H=300	個		
			φ 1200-600 H=450	個	1	
			φ 1200-600 H=600	個		
		調整リング	φ 600 H=50	個	2	
			φ 600 H100	個		
		調整モルタル		mm	7	
		※調整金物の場合	H=25 (～25mm)	個	1	
			H=45 (～50mm)	個		
		蓋及び受枠	(T-14)	個		
			(T-25)	個	1	
		ゲラウンドマンホール用 転落防止梯子		個	1	

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
2号組立人孔	流入管削孔	推進管	HP φ 250	箇所	2	I 種 1 II 種 1
		開削管	PRP φ 200	箇所		
				箇所		
	可とう継手	推進管	HP φ 250	箇所	3	
		開削管	PRP φ 200	箇所		
中間スラブ	FRP製 2分割	切欠無		組	1	
		切欠有		組	1	
2号組立人孔	底部工	型 枠		m2	0.471	全体
					0.471	箇所
		コンクリート	18-8-40	m3	0.372	全体
					0.372	箇所
		モルタル	t=2cm 1 : 2	m2	1.302	全体
					1.302	箇所
調整コンクリート		コンクリート	18-8-40	m3	0.682	
No. 3	0.205*2.058 <sup>2</sup> *π/4= 0.682					

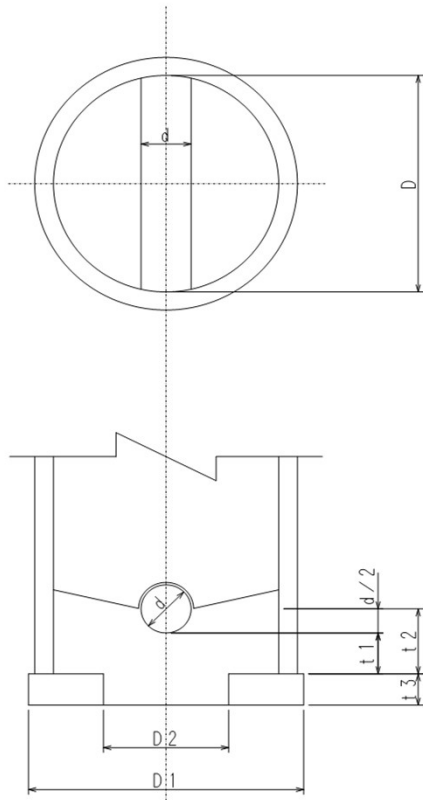




## 2号組立人孔底部工計算書（1ヶ所当たり）

## 算式の根拠となる構造図・他

流入管径： d1 =	0.250 m	人孔落差： h=	0.020 m
流出管径： d2 =	0.250 m	インバート厚： t1=	0.220 m
平均管径： d =	0.250 m	平均インバート厚： t2=	0.355 m
人孔内径： D =	1.200 m	： t3=	m
基礎外径： D1=	1.450 m		
底板開口： D2=	m	※平均インバート厚=t1+（管径+落差）/2	

[illegible]

[illegible]

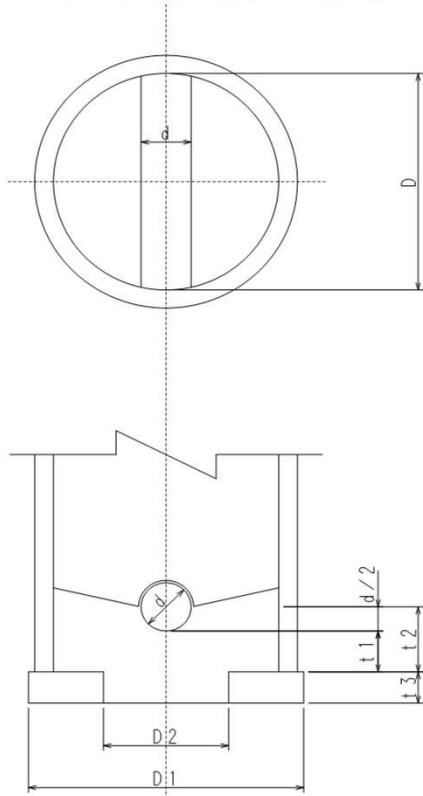


既特殊人孔底部工計算書（1ヶ所当たり）

## 算式の根拠となる構造図・他

流入管径： d1 =	0.250 m	人孔落差： h=	0.200 m
流出管径： d2 =	0.400 m	インバート厚： t1=	0.200 m
平均管径： d =	0.325 m	平均インバート厚： t2=	0.463 m
人孔内径： D =	2.400 m	： t3=	m
基礎外径： D1=	3.000 m		
底板開口： D2=	m	※平均インバート厚=t1+（管径+落差）/2	

※イバートについては、半分の施工範囲とするため数量を1/2とする。

[illegible]

## 副 管 材 料 表

(HP φ 250 : 推進管－φ 200)

路線番号	人孔番号	落 差 (H)	材 料										摘 要
			フ レ ン エ ン ト 直 管		90度曲管		内副管用マンホール継手		固定バンド				
			φ 200		φ 200		250-200		φ 200用				
	No.	m	本	m	個	個	個	個	個	個			
16-15a-1	No. 3	3. 568	0. 760		1		1		3				
計		3. 568	0. 760		1		1		3				

薬液注入工 二重管ストレーナ工法（複相方式 2セット）集計表

位 置	削孔長 L0(m)				土被り引抜き長 L2(m)	注入面積 (m2)	注入本数 n(本)	注入高(m)				注入量			総注入量 V(kl)	1本当たり施工時間 (min)					1日当たり施工本数 N (本/日)	摘 要
	砂礫土	砂質土	粘性土	計				砂礫土	砂質土	粘性土	計	一次(l/本)	二次(l/本)	Qs(l/本)		T1	T2	T3	T4	Ts		
M8 到達 上流	0.000	2.700	6.660	9.360	6.500	4.720	5	0.000	1.000	1.860	2.860	337	464	801	4,005							懸濁型
No.1 発進 下流	0.000	2.700	6.640	9.340	6.480	10.620	11	0.000	1.000	1.860	2.860	347	478	825	9,075							懸濁型
No.1 発進 上流	0.000	2.700	6.580	9.280	6.420	10.620	11	0.000	1.000	1.860	2.860	347	478	825	9,075							懸濁型
No.2 到達 下流	0.600	2.950	5.520	9.070	6.210	4.720	5	0.000	1.050	1.810	2.860	372	505	877	4,385							懸濁型
No.2 到達 上流	0.600	2.950	5.420	8.970	6.110	4.720	5	0.000	1.050	1.810	2.860	372	505	877	4,385							懸濁型
No.3 発進 下流	0.000	1.750	6.950	8.700	5.840	10.620	11	0.000	0.000	2.860	2.860	388	388	776	8,536							懸濁型
No.3 発進 上流	0.000	1.750	6.930	8.680	5.820	10.620	11	0.000	0.000	2.860	2.860	388	388	776	8,536							懸濁型
No.3 到達 上流	0.000	1.250	3.880	5.130	2.270	4.720	5	0.000	1.250	1.610	2.860	331	570	901	4,505							懸濁型
No.4 到達 下流	0.590	1.900	5.880	8.370	5.510	4.720	5	0.000	0.130	2.730	2.860	376	393	769	3,845							懸濁型
No.4 到達 上流	0.590	1.900	5.780	8.270	5.410	4.720	5	0.000	0.230	2.630	2.860	376	405	781	3,905							懸濁型
No.5 発進 下流	0.850	4.000	2.800	7.650	4.790	10.620	11	0.000	2.110	0.750	2.860	309	722	1,031	11,341							溶液型
No.14 発進 下流	0.000	1.980	2.700	4.680	1.820	10.620	11	0.000	1.980	0.880	2.860	314	703	1,017	11,187							溶液型
No.14 発進 上流	0.000	1.960	2.700	4.660	1.800	10.620	11	0.000	1.960	0.900	2.860	315	700	1,015	11,165							溶液型
No.15 到達 下流	0.000	0.620	3.650	4.270	1.500	4.720	5	0.000	0.620	2.150	2.770	342	459	801	4,005							懸濁型
合 計							112								97,950							

## 集計表 (1)

## 4 箇所

[illegible]



鋼製ケーシング式立坑  $\phi 2000$  mm (揺動圧入) 集計表 (2)

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 2000$  mm (揺動圧入) 集計表 (3)

[illegible]

舗装切断・取壊し工（共通）

工 種	算 式	数 量
舗装切断	<p>呼び径 = 2.000 m</p> <p>外周長 = <math>2 n r \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>L = 2 \times 8 \times (2.200 / 2) \times \tan(180^\circ / 8) = 7.290</math>    7.29 m</p> <p>(呼び径+0.200)</p>	
舗装取壊	<p>面積 = <math>n \cdot r^2 \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>A = 8 \times (2.200 / 2)^2 \times \tan(180^\circ / 8) = 4.010</math>    4.01 m<sup>2</sup></p> <p>(呼び径+0.200)</p>	
舗装仮復旧	<p><math>A = 4.010 - 0.820^2 \times \pi / 4 = 3.482</math>    3.48 m<sup>2</sup></p>	

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
立坑築造工	( No. 1 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 2000 mm		
	t= 16 mm 鋼管内径 $\phi$ 2058 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 2090 mm		
掘削深	(圧入掘削積込工)	m	9.813
圧入深		//	10.013
立坑深		//	8.863
引抜長		//	0.900
土質層厚	粘性土 (N $\leq$ 5) 3.570 +1.750 +0.930 +0.863	m	7.113
	// (5<N $\leq$ 30)	//	-
	砂質土 (N $\leq$ 30) 1.700 +1.000	//	2.700
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	礫質土 (N $\leq$ 30)	//	-
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	合計	m	9.813
舗装取壊工	市道		
舗装切断工	t=5cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m	7.29
舗装取壊工	t=5cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m <sup>2</sup>	4.01
残塊処分	As 4.01 $\times$ 0.05	m <sup>3</sup>	0.20
発生土処分	2.090 <sup>2</sup> $\times$ $\pi/4$ $\times$ 9.813 - 3.27 $\times$ 1.11	m <sup>3</sup>	30.04

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	3.1
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	1.2
土留材料			
先頭ケーシング	φ 2000 mm t= 16 mm l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 2000 mm t= 16 mm l= 2.2 m	〃	2
最終ケーシング	φ 2000 mm t= 16 mm l= 2.3 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 2000 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	5
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	3
	1箇所当り溶接延長	m	6.3
ケーシング撤去長		m	1.437
ケーシング切断長	2.000 × π + 1.437 × 4	m	12.0
スクラップ重量			
(撤去部)	1.437 × 0.818 t/m	t	1.175
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π/4 × 0.1256 t/m <sup>2</sup> × 2 箇所	〃	0.042
		t	1.217
円形覆工板	φ 2000 mm用	個	1

# 数量計算書

No.[illegible]

数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 1 立坑) 鋼管呼び径 φ 2000 mm		
	t = 16 mm 鋼管内径 φ 2058 mm		
	鋼管外径 φ 2090 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	7.088
	一般部 1.50 - 0.250	〃	1.250
仮舗装厚	市道	〃	0.250
ケーシング部埋戻し	グラウトコンクリート		
全体	$V1 = 2.058^2 \times \pi / 4 \times 7.088 = 23.58$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.130 = -0.12$	〃	底版
	$V22 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 1.800 = -1.71$	〃	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -1.43$	〃	直壁(Ⅱ種)
	$V24 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 3.658 = -3.17$ (7.088-0.130-1.800-1.500)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V25 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.479 \times 2 = -0.10$	〃	推進管
		m <sup>3</sup>	17.05
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1.250 = 4.29$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.842 = -0.73$ (1.500-0.208-0.450)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.841^2) \times \pi / 4 \times 0.408 / 2 = -0.29$	〃	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad =$	〃	調整リング
		m <sup>3</sup>	3.27

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
立坑築造工	( No. 3 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 2000 mm		
	t= 16 mm 鋼管内径 $\phi$ 2058 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 2090 mm		
掘削深	(圧入掘削積込工)	m	9.172
圧入深		//	9.372
立坑深		//	8.222
引抜長		//	0.900
土質層厚	粘性土 (N $\leq$ 5) 3.830 +3.370 +0.222	m	7.422
	// (5<N $\leq$ 30)	//	-
	砂質土 (N $\leq$ 30) 1.750	//	1.750
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	礫質土 (N $\leq$ 30)	//	-
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	合計	m	9.172
舗装取壊工	市道		
舗装切断工	t=5cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m	7.29
舗装取壊工	t=5cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m <sup>2</sup>	4.01
残塊処分	As 4.01 $\times$ 0.05	m <sup>3</sup>	0.20
発生土処分	2.090 <sup>2</sup> $\times$ $\pi/4$ $\times$ 9.172 - 5.85 $\times$ 1.11 (2.57(No.3)+3.28(No.5))	m <sup>3</sup>	24.97



# 数 量 計 算 書

No. \_\_\_\_\_

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	3.1
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	1.2
土留材料			
先頭ケーシング	φ 2000 mm t= 16 mm l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 2000 mm t= 16 mm l= 2.0 m	〃	2
最終ケーシング	φ 2000 mm t= 16 mm l= 2.1 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 2000 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	5
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	3
	1箇所当り溶接延長	m	6.3
ケーシング撤去長		m	1.478
ケーシング切断長	2.000 × π + 1.478 × 4	m	12.2
スクラップ重量			
(撤去部)	1.478 × 0.818 t/m	t	1.209
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.1256 t/m <sup>2</sup> × 3 箇所	〃	0.063
		t	1.272
円形覆工板	φ 2000 mm用	個	1

## 数量計算書

No.

[illegible]

数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 3 立坑) 鋼管呼び径 φ 2000 mm		
	t = 16 mm 鋼管内径 φ 2058 mm		
	鋼管外径 φ 2090 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	6.517
	一般部 1.50 — 0.250	〃	1.250
仮舗装厚	市道	〃	0.250
ケーシング部埋戻し	グラウトコンクリート		
全体	$V1 = 2.058^2 \times \pi / 4 \times 6.517 = 21.68$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.150 = -0.25$	〃	底版
	$V22 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -2.48$	〃	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -2.48$	〃	直壁(Ⅱ種)
	$V24 = -1.40^2 \times \pi / 4 \times 3.367 = -5.18$ (6.517-0.150-1.500-1.500)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V25 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.304 \times 2 = -0.06$	〃	推進管
	$V26 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.329 \times 1 = -0.03$	〃	推進管
		m <sup>3</sup>	11.20
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1.250 = 4.29$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.40^2 \times \pi / 4 \times 0.833 = -1.28$ (1.500-0.217-0.450)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.40^2 + 0.863^2) \times \pi / 4 \times 0.417 / 2 = -0.44$	〃	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad \quad \quad \times \pi / 4 \times \quad \quad \quad =$	〃	調整リング
		m <sup>3</sup>	2.57

## No.

[illegible]

数量計算書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 5 立坑) 鋼管呼び径 φ 2000 mm		
	t = 16 mm 鋼管内径 φ 2058 mm		
	鋼管外径 φ 2090 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	5.391
	一般部 1.50 — 0.250	〃	1.250
仮舗装厚	市道	〃	0.250
ケーシング部埋戻し	グラウトコンクリート		
全体	$V1 = 2.058^2 \times \pi / 4 \times 5.391 = 17.93$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.130 = -0.12$	〃	底版
	$V22 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 1.800 = -1.71$	〃	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 3.461 = -3.00$ (5.391-0.130-1.800)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.479 \times 2 = -0.10$	〃	推進管
		m <sup>3</sup>	13.00
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1.250 = 4.29$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.739 = -0.64$ (1.500-0.161-0.600)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.854^2) \times \pi / 4 \times 0.511 / 2 = -0.37$	〃	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad = \quad$	〃	調整リング
		m <sup>3</sup>	3.28

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
立坑築造工	( No. 14 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 2000 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 2066 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 2090 mm		
掘削深	(圧入掘削積込工)	m	5.163
圧入深		//	5.363
立坑深		//	4.203
引拔長		//	0.900
土質層厚	粘性土 (N $\leq$ 5) 2.660 +0.053	m	2.713
	// (5<N $\leq$ 30)	//	-
	砂質土 (N $\leq$ 30) 2.450	//	2.450
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	礫質土 (N $\leq$ 30)	//	-
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	合計	m	5.163
舗装取壊工	農道		
舗装切断工	t=4cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m	7.29
舗装取壊工	t=4cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m <sup>2</sup>	4.01
残塊処分	As 4.01 $\times$ 0.04	m <sup>3</sup>	0.16
発生土処分	2.090 <sup>2</sup> $\times$ $\pi/4$ $\times$ 5.163 - 3.55 $\times$ 1.11	m <sup>3</sup>	13.77

# 数 量 計 算 書

No. \_\_\_\_\_

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	3.1
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	1.2
土留材料			
先頭ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.4 m	本	1
最終ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.1 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 2000 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	3
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	1
	1箇所当り溶接延長	m	6.3
ケーシング撤去長		m	1.497
ケーシング切断長	2.000 × π + 1.497 × 4	m	12.3
スクラップ重量			
(撤去部)	1.497 × 0.615 t/m	t	0.921
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 2 箇所	〃	0.031
		t	0.952
円形覆工板	φ 2000 mm用	個	1

# 数量計算書

No.[illegible]



数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 14 立坑) 鋼管呼び径 φ 2000 mm		
	t = 12 mm 鋼管内径 φ 2066 mm		
	鋼管外径 φ 2090 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	2.428
	一般部 1.50 — 0.160	〃	1.340
仮舗装厚	農道	〃	0.160
ケーシング部埋戻し	グラウトコンクリート		
全体	$V1 = 2.066^2 \times \pi / 4 \times 2.428 = 8.14$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.130 = -0.12$	〃	底版
	$V22 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -1.30$	〃	躯体ブロック(Ⅰ種)
	$V23 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.798 = -0.69$ (2.428-0.130-1.500)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.508 \times 2 = -0.10$	〃	推進管
		m <sup>3</sup>	5.93
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1.340 = 4.60$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.702 = -0.61$ (1.500-0.198-0.600)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.82^2) \times \pi / 4 \times 0.600 / 2 = -0.42$	〃	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = 0.82^2 \times \pi / 4 \times 0.038 = -0.02$ (0.198-0.160)	〃	調整リング
		m <sup>3</sup>	3.55

## 集計表 (1)

### 3 箇所

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 1500$  mm (揺動圧入) 集計表 (2)

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 1500$  mm (揺動圧入) 集計表 (3)

[illegible]

舗装切断・取壊し工（共通）

工 種	算 式	数 量
舗装切断	<p>呼び径 = 1.500 m</p> <p>外周長 = <math>2 n r \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>L = 2 \times 8 \times (1.700 / 2) \times \tan(180^\circ / 8) = 5.633</math></p> <p>(呼び径+0.200)</p>	5.63 m
舗装取壊	<p>面積 = <math>n \cdot r^2 \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>A = 8 \times (1.700 / 2)^2 \times \tan(180^\circ / 8) = 2.394</math></p> <p>(呼び径+0.200)</p>	2.39 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧	<p><math>A = 2.394 - 0.820^2 \times \pi / 4 = 1.866</math></p>	1.87 m <sup>2</sup>

## No.

[illegible]

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	1.8
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	0.7
土留材料			
先頭ケーシング	φ 1500 mm      t= 12 mm      l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 1500 mm      t= 12 mm      l= 2.1 m	〃	2
最終ケーシング	φ 1500 mm      t= 12 mm      l= 2.0 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 1500 mm                              l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	5
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	3
	1箇所当り溶接延長	m	4.7
ケーシング撤去長		m	1.428
ケーシング切断長	1.500 × π + 1.428 × 4	m	10.4
スクラップ重量			
(撤去部)	1.428 × 0.466 t/m	t	0.665
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 2 箇所	〃	0.031
		t	0.696
円形覆工板	φ 1500 mm用	個	1

## 数量計算書

No.

[illegible]



数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 2 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 1500 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 1566 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 1590 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	6.817
	一般部 1.500 - 0.250	"	1.250
仮舗装厚	(別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	"	0.250
ケーシング部埋戻し グラウトコンクリート			
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 6.817 = 13.13$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.13 = -0.12$	"	底版
	$V22 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -1.43$	"	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V22 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -1.43$	"	直壁(Ⅱ種)
	$V23 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 3.687 = -3.19$ (6.817-0.130-1.500-1.500)	"	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.233 \times 2 = -0.05$	"	推進管
		m <sup>3</sup>	6.91
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 1.250 = 2.41$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.813 = -0.70$ (1.500-0.237-0.450)	"	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.83^2) \times \pi / 4 \times 0.437 / 2 = -0.31$	"	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad = 0.00$	"	調整リング
		m <sup>3</sup>	1.40

## No.

[illegible]

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	1.8
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	0.7
土留材料			
先頭ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 1.8 m	〃	2
最終ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 1.9 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 1500 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	5
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	3
	1箇所当り溶接延長	m	4.7
ケーシング撤去長		m	1.426
ケーシング切断長	1.500 × π + 1.426 × 4	m	10.4
スクラップ重量			
(撤去部)	1.426 × 0.466 t/m	t	0.665
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 2 箇所	〃	0.031
		t	0.696
円形覆工板	φ 1500 mm用	個	1

# 数量計算書

No.

[illegible]

数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 4 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 1500 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 1566 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 1590 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	6.119
	一般部 1.500 - 0.250	"	1.250
仮舗装厚	(別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	"	0.250
ケーシング部埋戻し グラウトコンクリート			
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 6.119 = 11.79$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.13 = -0.12$	"	底版
	$V22 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 2.400 = -2.28$	"	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 3.589 = -3.11$ (6.119-0.130-2.400)	"	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.233 \times 2 = -0.05$	"	推進管
		m <sup>3</sup>	6.23
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 1.250 = 2.41$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.611 = -0.53$ (1.500-0.289-0.600)	"	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.82^2) \times \pi / 4 \times 0.600 / 2 = -0.42$	"	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = 0.82^2 \times \pi / 4 \times 0.039 = -0.02$ (0.289-0.250)	"	調整リング
		m <sup>3</sup>	1.44

## 数量計算書

No.

[illegible]

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	1.8
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	0.7
土留材料			
先頭ケーシング	φ 1500 mm      t= 12 mm      l= 2.4 m	本	1
最終ケーシング	φ 1500 mm      t= 12 mm      l= 1.4 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 1500 mm      l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	3
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	1
	1箇所当り溶接延長	m	4.7
ケーシング撤去長		m	1.426
ケーシング切断長	1.500 × π + 1.426 × 4	m	10.4
スクラップ重量			
(撤去部)	1.426 × 0.466 t/m	t	0.665
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 1 箇所	〃	0.016
(管渠)	( 0.206 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 1 箇所	〃	0.007
		t	0.688
円形覆工板	φ 1500 mm用	個	1

# 数量計算書

No.

[illegible]



数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 15 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 1500 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 1566 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 1590 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	2.019
	一般部 1.500 - 0.160	"	1.340
仮舗装厚	(別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	"	0.160
ケーシング部埋戻し グラウトコンクリート			
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 2.019 = 3.89$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.13 = -0.12$	"	底版
	$V22 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 1.500 = -1.30$	"	躯体ブロック( I 種)
	$V23 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.389 = -0.34$ (2.019-0.130-1.500)	"	直壁( I 種)
	$V24 = -0.360^2 \times \pi / 4 \times 0.258 \times 1 = -0.03$	"	推進管
	$V24 = -0.206^2 \times \pi / 4 \times 0.258 \times 1 = -0.01$	"	開削管
		m <sup>3</sup>	2.09
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 1.340 = 2.58$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.811 = -0.70$ (1.500-0.239-0.450)	"	直壁( I 種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.82^2) \times \pi / 4 \times 0.450 / 2 = -0.31$	"	斜壁( I 種)
	$V23 = 0.82^2 \times \pi / 4 \times 0.079 = -0.04$ (0.239-0.160)	"	調整リング
		m <sup>3</sup>	1.53

# 水質観測井数量計算書

土 質		砂礫土	砂質土	シルト・粘土	計	継 手	ストレーナー 加 工	備 考
立坑NO.	単位	m	m	m	m	本	m	
M8.1			2.700	7.700	10.400	2	2	
2		0.600	2.950	6.550	10.100	2	2	
3			1.750	8.050	9.800	2	2	
4		0.590	2.220	6.590	9.400	2	2	
5								既存流用のため、調査孔閉塞のみ
14			2.450	3.250	5.700	1	2	
15			1.300	4.000	5.300	1	2	
合 計		1.190	13.370	36.140	50.700	10.000	12.000	

# 水質觀測井土質分類表

[illegible][illegible]

# 水質觀測井土質分類表

[illegible][illegible]

# 水質觀測井土質分類表

A	地盤高	86.200	立坑No：5
B	薬注下端高	78.554	
C	B－1.00m	77.554	
A－C		8.646	
改め		8.700	適用Br No. 4
ボ-リンク`GL		85.940	
		0.260	
土 層		土層厚	累 計
			0.000

[illegible]

# 水質觀測井土質分類表

[illegible]

A	地盤高		立坑 No.:	
B	薬注下端高			
C	B-1.00m	-1.000		
	A-C	1.000		
	改め	1.000		適用Br No.
	ボ-リング GL		0.000	
	土 層	土層厚	累 計	
			0.000	
	砂礫土[G]		0.000	
	砂質土[S]		0.000	
	シルト・粘土[C]		0.000	
	計		0.000	